

curb

～抑制する、歯止めをかける～

世界中で食品ロス (food loss) や食品廃棄 (food waste) への取り組みが注目されています。外国人の目から日本の現状を見ると、賞味期限に厳格過ぎる、外食で食べ残し (leftovers) を持ち帰れないのはもったいない、などと感じるようです。賞味期限ルールの緩和、期限切れ商品の再利用、持ち帰りができるレストランの出現といった最近の新たな動きについて説明してみるといいかもしれません。

Curbing food loss is a pressing issue for the food-service industry.

食品ロスを抑制することは、飲食業界にとって喫緊の課題です。

curb は「～を抑制・制限する、～に歯止めをかける」という意味の動詞。これ以上増えたら困る、減らさないといけない、というニュアンスです。

There is growing awareness among citizens to curb waste from overbuying.

一般市民の間には、買いすぎから生じる廃棄物を抑えようとする意識が高まっています。

ここでも curb は「抑える」という意味で使われています。同義語の reduce には、良しあしは別にして単に「減らす」、curb には買いすぎ (overbuying) のように、「増えるのが好ましくないものを減らす・抑える」という含みがあります。

欧米のレストランでは、Can I have a doggy bag? 「持ち帰り用の容器をいただけますか？」(犬の餌にするという間接的な言い方) と言えば、食べ残しを持ち帰ることができます。日本では、ナマものが多く湿度が高いといった事情もありますが、消費者責任を徹底したうえで持ち帰りが広まるといいですね。

I have no idea how the government is going to curb the national debt.

政府はどうやって国家の借金を削減するつもりなのかは、わかりませんね。

経済の分野で使う curb の事例です。curb debt (借金を減らす) に加えて、curb inflation/spending (インフレ・支出を抑える) など、増えると困るものを減らす・抑えるときに使われます。

なお、道路のカーブや野球の球種の curve (曲線) は似て非なるものなので、使い分けてくださいね。

単語・熟語チェック

- food-service industry 飲食業界 overbuying 買いすぎ
 awareness 意識 national debt 国家の借金単語・熟語チェック